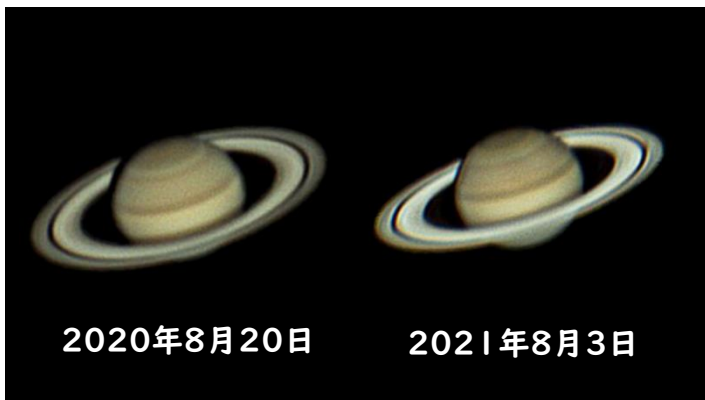


## むか 見ごろを迎えた土星

土星というとりっぱな輪をもった惑星として有名で、多くの方がご存知の事と思います。この時期夜8時頃南の空を見上げると、ちょっと東側にキラキラ輝いている木星が見えますが、そのすこし右上に木星と比べると少し控えめに輝いている星があり、これが土星です。

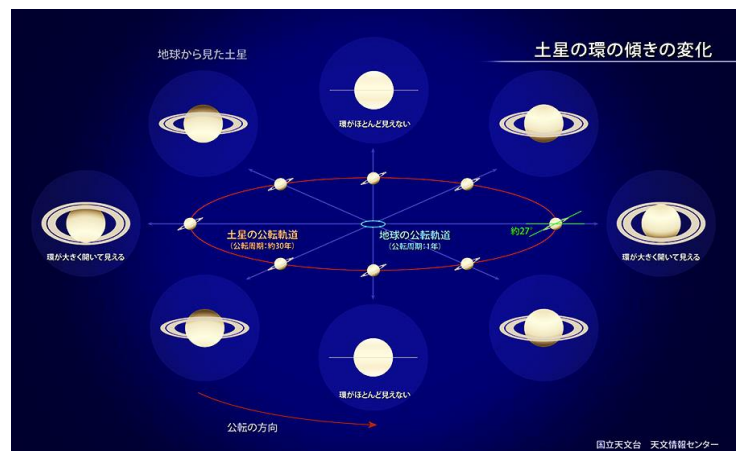


昨年と今年の土星 (撮影: 疋田純之)

さてこの土星、毎年同じ姿をしているわけではありません。左の写真は昨年2020年8月に撮影した土星と今年2021年8月に撮影した土星をならべたものです。この2つの写真を見比べてみると、輪の見え方にちがひがあることがわかります。昨年は輪にかく隠れて見えなかった土星の南極(下が南)

が今年は輪の下に見えているのがわかります。これは輪の傾きが変わったからなのです。

土星の輪は約15年周期で傾きが変わって見えますが、これは土星も地球と同じように傾いて太陽の周りをまわっているため地球から見た輪の傾きも年々変わって見えるのです、2017年に輪が一番開いた状態で見た土星ですが、2025年になると輪を横から見る事になり、薄い輪が見えなくなってしまいます、その後また輪の開きが大きくなってゆきます。



土星の輪の傾きの変化 (提供: 国立天文台)

かいせつじん ひきた あつし  
(解説員: 疋田 純之)